

学校だより

行方市立麻生中学校

TEL 7 2 - 0 1 2 0

Fax 7 2 - 2 3 0 5

<http://www.sopia.or.jp/asojh/toppage/>

e-mail asojh@sopia.or.jp

第 2 号 平成 22 年 5 月 11 日



スクールカウンセラーの土田先生です。

5月26日からほぼ毎月1回来校していただくことになっております。スクールカウンセラーの土田弥生先生から生徒と保護者のみなさんあての手紙をいただきましたので、お載せいたします。

初めまして。本年度よりカウンセラーとして勤務させていただくことになりました土田弥生と申します。どうぞよろしくお願いたします。

私の住まいは石岡市大塚（旧八郷町）というところで、加波山の風車が見える麓に位置し、板敷山大覚寺という“ほとバスのコース”にもなっているお寺の近くで非常に風光明媚なところです。従って、皆さんの学校

までは少々遠く1時間40分ほどかかりますが、昨年度までは東京都内の小学校に勤務しておりましたので、通勤時間は少し短縮されました。

カウンセラーとして仕事をするようになる以前は、某放送局にてドラマの制作をしておりましたが、長男が高校2年の時に交通事故に遭遇し意識不明のまま死線を彷徨い、高次脳機能障害に苦しみ、悩み悲しんで自暴自棄になり人生を放棄しそうになった時、どうすれば生きる希望をもたせてあげられるのか、親としてどうすればいいのだろうか、日々共に悩みながら試行錯誤して乗り越えてきたことが、カウンセラーという仕事に就くきっかけを与えてくれることになりました。

実際に学校に勤務してみると、友人関係がうまく築けないことから発生する問題に関する相談がかなり多くあります。なかなか難しい問題で、一朝一夕には解決できないと思われませんが、それぞれの個性をお互いが認め合うことが出来るようになるといいですね。SMA Pの歌“世界中に一つだけの花”の主題にもあるように“ナンバーワンではなくオンリーワン”でいいのです。つまりそれぞれの個性に無情の尊厳性を認め合い存在している、そのオンリーワンの個性の素晴らしさをお互いが認めあえることこそが大切なことなのです。いろいろな見方、考え方があって良いのであり、一方向からだけそれも偏見を持って見ていると正しさと優しさを見失うし、自分自身の成長を困難にしていくことにもなりかねません。

従って、カウンセリングとは、悩み苦しみのものをカウンセラーが解決するのではなく、どうすればその悩みや苦しみを解決していくことが出来るかを一緒に考えて解決出来るようお手伝いをするその過程がカウンセリングです。人は本来自分でどんな困難さも解決できる力をもっているのです。ですからカウンセリングすることでその力を引き出して差し上げる訳です。

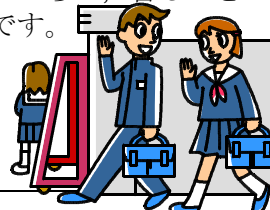
しかし“こころの病氣”になってしまった時は、心理療法が必要になってきますので、学校という場では、それは難しくなってきます。ですからそこまでいかにようにカウンセリングすることで、予防出来るという意味合いもカウンセリングの中には含まれてきます。ほんの小さなことでもどうして良いかわからず悩んでいる時は、迷わず相談に来てください。解決のため一緒に考えていきましょう。どうぞ一年間よろしくお願いたします。

土田先生の勤務時間ー 9 : 3 0 ~ 1 7 : 1 5

カウンセリングに関する申し込みや連絡などは、今年は河嶋が担当します。

中学生は、友人関係や進路の問題などでいろいろ悩みを抱える時期でもあります。心の重荷は、早めに相談して取り除いてください。一人で悩んでいるとどうしてよいか分からない、つらい、苦しいというような悩みも相談すると楽になることも多いです。

カウンセリングを受けるのには、事前に予約が必要ですので河嶋まで申し込んでください。



土田先生の来校日

5月26日 (水)

6月2日 (水)

23日 (水)

7月14日 (水)

8月9日 (月)

9月15日 (水)

10月13日 (水)

11月17日 (水)

12月8日 (水)

1月12日 (水)

2月9日 (水)